

「死の體」の書名が、この本の題材を表す。死の體は、死んでしまった人の死後遺した身體のことを指す。死の體は、死後も人間としての意識や感覚が残る場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。

死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。

死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。

死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。

死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。

死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。

死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。

死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。

死の體は、死後も人間に似た状態で存在する場合があるが、その場合は「死の體」として扱われる。